

県立病院を良くする会 議事録

●日 時 令和4年2月28日（月）15：30～17：00

●会 場 徳島県庁 10階 病院局会議室 他（WEB開催）

●出席者

（委員）青 野 透 委員（徳島文理大学総合政策学部 学部長）
石 本 寛 子 委員（（一社）徳島県医師会 常任理事）
後 藤 真 美 委員（（一社）キラニコ 代表理事）
菅 井 弘 昭 委員（三好病院を応援する会 会長）
武 田 芳 嗣 委員（徳島赤十字病院 副院長）
谷 憲 治 委員（徳島大学病院総合診療部 教授）
姫 田 知 子 委員（四国大学短期大学部幼児教育保育科 講師）

（ 県 ） 病院事業管理者、病院局長、病院局副局長
中央病院（院長・看護局長・事務局長）
三好病院（院長・看護局長・事務局長）
海部病院（院長・看護局長・事務局長）
本 局（次長（総務課長事務取扱）・経営改革課長・政策調査幹）ほか

●会議の概要

（病院事業管理者あいさつ）

委員の皆様方におかれましては、本日、「県立病院を良くする会」に御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

初めてのウェブ開催となって、いろいろと御迷惑をお掛けすることがあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

県立病院では、「県民医療の最後の砦となる」との基本理念のもと、救急医療、へき地医療など、政策医療に取り組んでいるところであり、特に、新型コロナウイルス感染症患者の積極的な受入れを進めて参りました。

さらに、令和3年度には、新たに策定した「徳島県病院事業経営計画（第2期）」に基づき、中央病院ER棟の整備による救命救急医療の強化、「5G」を活用した遠隔医療の推進による地域医療支援の充実、そして、徳島医療コンソーシアム推進

協議会の参加医療機関として、各病院間の連携・協働の強化などに努めて参りました。

なお、本日の「県立病院を良くする会」は、令和2年度に終期を迎えた前経営計画の総括を行う会議としても位置付けられております。

新・旧の経営計画に基づく県立病院の取組みに対しまして、委員の皆様方から御意見をいただくことで、計画の適切な進行管理に努め、県立病院の「医療の質の向上」や「経営の効率化」に繋げて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(議 事)

司会

議事に入ります前に、今回の会議の開催趣旨について御説明致します。

当会議におきましては、設置要綱第2条に規定されておりますとおり、「計画の達成状況の評価及び見直し」や「県立病院の基本理念の実現に必要な事項」について、委員の皆様から必要な御提言を頂くこととしております。

本日は、昨年度に最終年度となりました前経営計画の取組状況と、新たに昨年度に策定しました第2期経営計画の取組状況につきまして、また県立3病院の取組状況につきまして、御説明させていただきます。

また、今年度中に「公立病院経営強化ガイドライン」が示される予定であることから、今後の見通しにつきまして、御説明させていただきます。

委員の皆様方からは、より良い病院づくりのために、様々な御意見を頂きたいと存じますので、よろしくお願い致します。

終了時刻は、午後5時を予定しておりますので、議事進行に、御協力よろしくお願い致します。

(委員及び病院局職員等の紹介)

それでは、議事に移りたいと存じます。

議事(1)は「会長及び副会長の選任」でございます。

「県立病院を良くする会設置要綱」第4条第2項では、「会長は、委員が互選し、副会長は、委員のうちから会長が指名する」こととされております。

会長につきましては、互選となっておりますので、どなたか御推薦をお願いできませんでしょうか。

委員	<p>前回に引き続きまして、谷委員に会長をお願いしてはいかがでしょうか。</p>
司会	<p>ただいま、委員から谷委員を会長に御推薦いただきました。皆様いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>
司会	<p>異議なしでよろしいでしょうか。 それでは、谷委員に会長をお願いしたいと存じます。 これからの進行につきましては、谷会長をお願いいたします。谷会長、どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
会長	<p>ただいま、会長を仰せつかりました谷でございます。会の円滑な運営に努めて参りますので、皆様方の御協力をよろしくをお願いいたします。 それでは、議事を進行させていただきます。 まず、設置要綱により、副会長は会長の指名となっているとのことでありますので、私からは副会長に是非、青野委員をお願いしたいと思っておりますが、青野委員、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>了解いたしました。</p>
会長	<p>それでは、副会長を青野委員をお願いいたします。</p>
会長	<p>続きまして、「会議の公開」について、お諮りしたいと思いますので、事務局の方から御説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>会議の公開につきまして、御説明申し上げます。 設置要綱第5条第3項により、当会は会長が必要を認め、委員に諮った場合を除き「公開」とされております。 また、会議の議事録ですが、これまでと同様に事務局で作成し、各委員にその内容を御確認いただいた後、発言された委員のお名前は記載せずに病院局のホームページ上で公開したいと考えております。</p>
会長	<p>ただいま、事務局から御説明いただきましたけれども、議事録等の公開については了承するという事によろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>(異議なし)</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。</p> <p>それでは、議事（２）の「徳島県病院事業経営計画の取組状況について」と議事（３）の「各県立病院の取組状況について」、そして議事（４）の「公立病院経営強化プラン策定に向けて」は、事務局から、まとめて、御説明いただきたいと思います。その後、各委員の方々より御提言等をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>それでは、資料の説明をよろしく願いいたします。</p>
<p>（２）徳島県病院事業経営計画の取組状況について（病院局総務課 説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料１ 徳島県病院事業経営計画の取組状況 ・資料２ 徳島県病院事業経営計画の取組状況の評価について <p>（３）各県立病院の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料３ 中央病院の取組状況（中央病院長） ・資料３ 三好病院の取組状況（三好病院長） ・資料３ 海部病院の取組状況（海部病院長） <p>（４）公立病院経営強化プラン策定に向けて（病院局総務課 説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料４ 公立病院経営強化プラン策定に向けて 	

（意見交換）

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまから、委員の方々から御提言をいただきたいと思います。時間が限られておりますので、まずは、お一つずつ御提言ください。各委員の御提言に対しまして、それぞれ御回答をいただきたいと思います。</p> <p>最初に、委員からお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料４「公立病院経営強化プラン策定に向けて」の★印の付いている４のデジタル化についてであります。これは資料１の中にもあったんですが、重点としてのICT情報通信技術の活用ということで、いわゆるデジタル化、しかもそれは単なるデジタル化ではなく、DXと呼ばれているデジタルトランスフォーメーションという形で、それによって大きく、これから先が見えない時代の中であっても、それに対応できるように、大変革が行われるという世の中であって、病院としての、医療のところもそうでしょうけど、様々な形のデジタル化が行われると思うんですけど、DX人材というような、そういう人材の確保あるいはその人材を育成すべき取り組み、そういうことを今の時点で何かお考えであれば、</p>

	<p>教えていただきたいと思ひます。</p>
総務課	<p>御提言ありがとうございます。</p> <p>今後の病院の経営におきましても、DXをはじめとするITを活用した取り組みというのが、非常に重要と考えておりまして、中でもITスキルを持った職員の確保というのが、非常に重要であると考えております。現在のところ、内部職員の研修をはじめ、外部のベンダーの委託先からの派遣、庁内では知事部局における専門部署との連携を通じて、スキルの確保に対応しているといったような状況です。内部人材の確保につきましても、非常に重要な課題であると考えておりまして、今後、専門的な研修の在り方ですとか、外部からの人材の確保等々、様々な対応が必要だと考えておりますので、しっかりと検討してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>一点だけ付け加えさせてください。以前ですと、IT人材というと、どちらかというと男性というイメージがあったんですが、特に女性の登用というか、徳島の場合ですと、人口減少の中で、必要な人というのは、正直にいうと女性の活躍が必要であり、女性を都市部からも呼んでくるというときにICT人材の中の、特に女性を育てるというか、女性たちがここで職場を得ることになりますから、病院関係というのは、そこは非常に期待できるわけですから、若い女性を育てる、DXに向けた人材ということを意識してもらえたらいいなと思ひます。</p>
総務課	<p>御提言ありがとうございます。</p> <p>委員からいただいた御提言の内容を踏まえまして、特に若い方、また、女性といった観点を含めて、人材育成について積極的に考えてまいりたいと思ひます。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>各病院からの取組みについて、御報告ありがとうございました。地域の実情に応じた素晴らしい取組みを、それぞれされているんだなと思ひて感心いたしました。コロナのこの2年間で、方向性というのがなかなか進まないというところも、御報告を受けたところですから。質問とか意見とかないんですけども、昨年度も三好病院長からの、三好病院に対する希望案という、感染症対応外来棟というお話を伺ったところでもあるので、すぐには実現は難しいとは思ひますが、将来的にこういう方向性であるのかないのかということも、少しお聞かせいただけたらと思ひます。</p>

経営改革課	<p>ありがとうございます。</p> <p>三好病院の感染症対応の外来病棟の件でございます。三好病院の院長の強い思いもございまして、いろいろと検証を進めていきたいと考えておりますが、現在、中央病院では、ER棟ということで、感染症にも対応した新たな施設の建築が、今まさに継続しているところでございます。病院局全体で、そこには大きな費用も伴いますので、全体の収支を見ながら、検討してまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>御説明いただいてありがとうございました。3つの病院が、最初の頃よりだんだん特色が出てきて、地域に根を張った病院になってきているなと感じました。</p> <p>資料4の「公立病院経営強化プラン策定に向けて」の2番の2の医師・看護師等の確保、働き方改革の推進というところがあるんですけど、令和6年度に向けて明記とあるんですが、中央病院のところで、働き方改革の勤務時間の明確な把握のためにというので、グラフで把握はされているというのが、すごく分かったんですが、海部病院と三好病院もこのシステムを入れているのかなというのが、少し気になったのと、これを把握して、今後どれくらいの医師がプラスでいるのか、看護師がプラスでいるのか、というのが気になりました。コロナでもそうですが、すごく患者さんを受け入れてくれていて、本当に最後の砦だなと感じたんですが、それを守り続けてもらうために、今後どれくらい医師と看護師が必要なのか、目標を作って把握して、目標数値というのを出していくというのが必要なのかなと、話を聞いていて思いました。</p> <p>入院したことがあったんですが、その時は女性の医師さんで、外来もして、入院病棟も来られてて、いつ帰っているのかと思ったんです。すごくたいへんそうだったので、女性が子どもを持ちながら働くというのが本当にたいへんな仕事だと思ったので、そういう点もお伺いできたらと思いました。</p>
総務課	<p>ありがとうございます。</p> <p>医師・看護師の確保という部分につきましては、令和6年度から現在暫定的に対応となっておりますが、医師の時間外労働規制が本格的に開始になってくるといった、大きな節目を迎える予定となっております。ドクターの勤務状況をしっかり把握した上で、規制内に時間外労働の枠を収めていくといったような対応が必要となっております。そのために、病院全体の職員の勤務状況をしっかり把握しようということも含めて、昨年から総務事務システムを導入いたしまして、勤務実態がより分かりやすくなったといったところでございます。今後は、コロナ対応も含め</p>

	<p>て、現場での業務量が大きくなってきているといった状況も踏まえまして、必要な業務量を、現在の超過勤務実態も含めて、しっかりと把握をして、計画的な採用・確保に含めていきたいと考えております。</p> <p>令和2年度から、病院全体の業務量、ニーズが増えてきているということで、職員の数を増やすための前提となります、職員定数条例を改正して、全体で90名増員ができるような準備もできているところをございまして、今後どういうふうに対応して、コロナ対応も含めてしっかり体制を整えるか、しっかりと検討してまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>今回初めて参加させていただきました。御説明ありがとうございました。</p> <p>今後、人口減というのがあると思うんです。特に県西部の場合は、人口減というのが課題だと思うんですが、そういったところがどういうふうになるのかなど。先の話になるかとは思いますが、そんなところが、感じたことをございます。</p>
会長	<p>人口減についてのコメントがございましたが、いかがでしょうか。</p>
病院局	<p>全国的なこと、あるいは西部圏域における人口減少についてどうなのか、といった御指摘だったかと思えます。先ほど委員にも触れていただきましたとおり、三好病院長の説明の中にもありましたが、確かに人口減少というトレンドは全体的にあるわけなんです、各病院、各圏域で担っている又は求められる医療機能、そういったところにつきましては、あるいは高齢化が進んでくる中で、やはり整形をはじめとする医療需要というのはまだ当面の間、よほどのものがあるのかなと考えております。今後、時代が進んで、さらなる人口減少ですとか、地域における医療ニーズがどうなってくるのかといったところ、これは経営の観点も含めまして、慎重に見極めながら、「県民医療の最後の砦」としての県立病院の役割が各圏域において果たせるように、しっかりと本県の全体的な動向、各圏域ごとの状況・実情を踏まえての対応を図ってまいりたいと考えております。</p>
会長	<p>続きまして、委員からお願いします。</p>
委員	<p>コロナに関しましては、3病院が中心となって治療していただいているおかげで、我々の病院は機能を落とさずに治療できておりまして、本当に感謝しております。</p> <p>提言というほどではないんですが、先ほどから問題になっております、</p>

資料4の2の2 医師・看護師などの確保、働き方改革の推進に関して、これは我々も非常に頭を悩ませているところで、医師の確保に関しては、県だけでなく大学を中心に全体で考えなければいけない話ではありますが、働き方改革に関しまして、勤務時間の把握とか、そういったものができるようになったということですが、医師でなければできない仕事にプラスして、事務的な仕事とかそういったものもかなりたくさん入っているんじゃないかと思います。時間だけでなく、内容も把握して、例えばメディカルクラークを増やすことで、それを減少できるものがあるのであれば、すぐにでも取り組めることもあるかと思いますので、時間だけでなく、仕事内容についても、県として把握していただいて、できればスタッフを増にして、医師は医師としての仕事に専念できるような環境を作っていただければと思います。

総務課

御提言いただきまして、誠にありがとうございます。

医師の方々の勤務内容に応じて、その他の職員でカバーすることによって、医師の本来の業務に専念していただきつつ、事務量が軽減していくかといった点が非常に重要であると考えております。現在も、事務的な補助に対しましては、医師事務の作業補助者ということで、別途任用して、ドクターの事務軽減を図っているところでございます。今後も、そういった職種に移行できるような事務がないかどうか、それぞれのドクターの勤務実態も十分把握しながら、さらにシフトを考えていければと思います。また、事務的な作業以外に、医療法の改正に伴って、コメディカルの職員ができるような法改正もなされたところでございますので、そういった観点でも、どういった業務をその他の職種に移行していくのが相応しいのか、それぞれの病院での実態も踏まえながら、検討していく必要があるかと考えております。今後もそういった両面で、ドクターの業務の軽減に向けて、しっかりと検討してまいりたいと考えております。

会長

続きまして、委員からお願いします。

委員

今回初めて参加させていただいて、皆様方のいろいろな取組みについて、本当に頭の下がる思いです。

特に提言ということではないんですけれども、私自身が保育者養成、心理学のほうで教員をしております。それから、子育て支援というところを、研究としてずっとしております。地域の子育て支援というところで研究しております。

人口減というところが、いろいろなところでお話としてあがっていたかと思います。少子・高齢化でいうと、少子の部分についても、やはり手厚くしていかなければいけないというところがあるのではないかと、

私自身の問題意識としてもありまして、そうすると、女性の働きやすい、子どもを生んでもここにいられるというような街というところも、社会全体でしっかり考えていかなければいけないのではないかと考えております。今回のコロナの最近の流行の中では、保育現場、療育のほうでもかなりコロナの陽性者が出ております。そうすると、例えば病院で働いておられる方の中でも、休まざるを得ない方たちも多くいたのではないのかなと思うんですが、公立病院経営強化プラン資料4のところの、また今後どんな感染症が流行るかも分からない、どういうことが起こるかも分からないといったときに、そういった事態にも備えられるような、女性それから男性もちろん、子育てをしている家庭の、交代制で子どもと関わったりとか、家族の機能というものも弱くさせないような、そういった取り組みみたいなものも、病院側の経営だったりとか、勤務形態の中で考えていただけたらいいかなと思ったりしました。

今回の達成のところ、5番、中央病院やまもも保育園の運営のほうの定員80名となっているということもあります。利用状況だったり、そういうのもあるかと思うんですが、こういった改善が上手くいながら、女性それから男性も、お父さんお母さんが働きやすいような職場環境にさせていただけたらと思っております。

総務課

御提言ありがとうございます。

職員の方々が働きやすい職場環境、特に女性の職員も含めて、子育てしやすい環境作りというのが非常に重要であると、私も考えております。先ほど委員からもお話がありましたやまもも保育園につきましても、多数の職員に利用いただいているところでございまして、夜間もそうですし、病児の預かりといった点でも、非常に活用されております。今後も、働きやすい職場、子育てしやすい職場ということで、例えば休暇が取りやすいような制度にするとか、バックアップできるような体制作りでありますとか、休暇の在り方を含めて、様々な角度から、引き続きしっかりと検討して、できるものからどんどんと実践をしてまいりたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

会長

最後に私からなんですが、今回この「良くする会」があるということで、海部病院で医師としてお世話になっている4人のスタッフに、何か意見はないかと話を聞いてみました。その4人とも、新海部病院になってからの勤務者で、卒後10年以内の若い医師です。4人全員の意見が一致したものはすべて海部病院の医師公舎に関する内容でした。いくつか挙げたんですが、重要と思ったのを2つ挙げさせていただきますと、1つは、町内放送のスピーカーが備わっていないので、災害時に不安であるということです。先日のトンガ津波のときも、避難放送が流れたらしいけれども、公舎にはその町内放送は流れなかったと申しております。

もう1つは、公舎の窓に雨戸が備わっていないということ。台風のとき、ガラス戸1枚なので、いろいろな物が飛んできて、非常に不安だそうです。海部病院の公舎も、見た感じかなり古そうでもあるし、耐震は大丈夫なのかというようなことと、病院は高台に移りましたが、医師公舎は低いところのままなので、津波の件もあります。さまざまな不安も持っているようですが、若い職員は発言しにくいので、定期的な調査をやっているのかどうか、というようなこともお伺いしたいと思います。私個人的に、平成3年から3年間三好病院で勤めて、三好病院の医師公舎に3年間住んだことがあるんですが、そのときもそんなに新しくはなかったんですが、それから30年経っているのに、耐震とか同じような課題があるのではないかと思います。医師が長く勤めるためには、生活基盤の安全と快適さというのは大事かなと思いますので、改善できるものは改善いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

総務課

御提言いただきありがとうございます。

公舎の整備・環境改善につきましては、これまでも現場の様々な状況、職員の皆様からの要望も踏まえながら、適宜予算化を図って、整備を進めてまいったところでございますが、4人の若い先生方からいただいた御要望、非常に重要な御意見と受け止めております。今後、現場の状況もしっかりと把握させていただいて、さらにドクターの皆様や職員の方からのニーズをしっかりと把握して、できるものからしっかりと予算を取って、整備を図って、安心して快適に勤務していただけるような、体制作り・環境作りに努めてまいりたいと思います。

会長

4人にはそのように伝えておきます。

これで一通り御提言いただいたんですが、委員の中から、これだけは言っておきたいということがございましたら、御発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。

よろしいですか。

それでは、時間が参りましたので、議事を終了させていただきます。委員の皆様方からは、貴重な御提言をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

司会

ありがとうございました。

この場をお借りしまして、事務局から明日、3月1日から公開を予定している病院局の「新ホームページ」につきまして、概要を説明させていただきます。

(新ホームページ概要説明)

ありがとうございました。
それでは、閉会にあたりまして、病院事業管理者より御挨拶申し上げます。

(病院事業管理者あいさつ)

本日は、各委員の皆様方には、貴重な御意見・御提言を賜り、心より御礼申し上げます。

委員の皆様方から頂きました御提言等は、今後の病院運営にしっかりと反映していきたいと考えておりますので、今後とも、御指導の程をお願い申し上げます。簡単ではございますが、御礼の言葉とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。